

報道提供資料

令和5年7月11日



## 貝塚市

総合政策部 魅力づくり推進課  
広報シティプロモーション担  
当：遠藤・中村  
TEL:072-433-7059  
FAX:072-433-7233

# 天然記念物和泉葛城山ブナ林指定 100 周年記念シンポジウム の開催について

貝塚市・岸和田市と和歌山県との府県境付近に広がる和泉葛城山ブナ林は、大正 12（1923）年 3 月に国の天然記念物に指定されました。今年が指定 100 周年にあたることから、過去の調査をふまえたブナ林の変遷やこれまでの保全活動をふり振り返りつつ、今後のブナ林とその保全のあり方を考え、100 年後に向けた展望を共有することを目的とします。文化庁文化財調査官による基調講演と、同ブナ林と深く関わってきた専門家も加わったパネルディスカッションの 2 部構成です。

## 記

日時 令和 5 年 8 月 26 日（土曜日）12 時開場、13 時開始、16 時終了予定

会場 大阪市立自然史博物館 講堂（大阪市東住吉区長居公園 1-23）

サテライト会場 きしわだ自然資料館 1 階多目的ホール（岸和田市堺町 6-5）

内容 基調講演

田中 厚志（たなかあつし）文化庁文化財調査官 天然記念物の保全と活用

石原 正恵（いしはらまさえ）京都大学フィールド科学教育研究センター森林生態系部門准

教授 近畿地方のブナ林保全 各地の課題と未来

パネルディスカッション

田中 厚志

石原 正恵

高原 光（たかはらひかる）京都府立大学名誉教授（生命環境科学研究科）

田中 正視（たなかまさみ）貝塚市文化財保護審議会委員

土井 雄一（どいゆういち）和泉葛城山ブナ愛樹クラブ代表

幸田 良介（こうだりょうすけ）（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所

以上パネリスト

コーディネータ

佐久間 大輔（さくまだいすけ）和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会会長

参加費 無料 ただし大阪市立自然史博物館の入場料大人 300 円、高校・大学生 200 円必要

定員 大阪市立自然史博物館 170 人、きしわだ自然資料館 50 人

申込 不要 両会場とも当日受付

その他 YouTube 同時配信、きしわだ自然資料館は同時配信を上映します。

問合せ先 （公財）大阪みどりのトラスト協会 電話 06-6614-6688

問合せ先

貝塚市教育委員会 社会教育課  
文化財保存活用室

TEL 072-433-7126

担当：地村 波多野

国天然記念物指定

100周年  
記念シンポジウム

い づ み

か つ ら ぎ さ ん

り ん

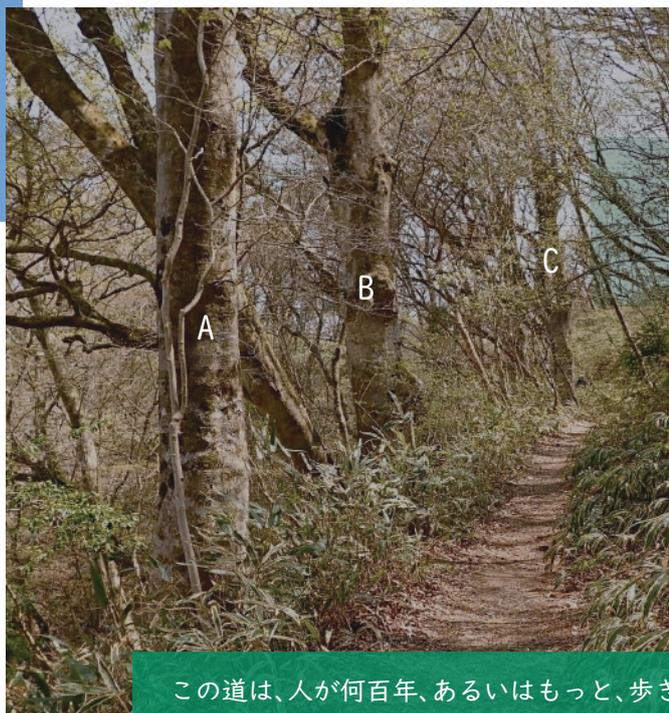
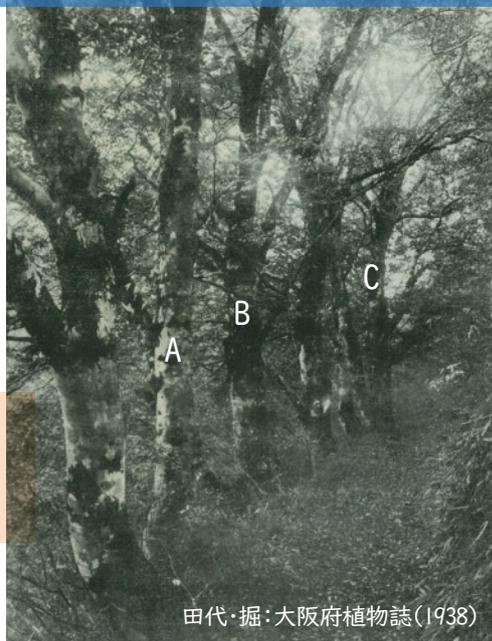
# 和泉葛城山ブナ林

これまでの100年 これからの100年

「和泉葛城山ブナ林」は、太平洋側の、標高800メートル前後の比較的高度の低い位置に分布しており、ブナ分布の南限圏に近い場所でこのようなブナ林が存続することに大きな価値があるとして、1923(大正12)年に国の天然記念物に指定され、2023年3月に指定100周年を迎えました。

これまでの100年間におけるブナ林の変遷、保全活動の経過などを振り返り、これからのブナ林や自然環境保全のあり方を考え、100年後に向けた展望を共有することを目的にシンポジウムを開催します。

ブナ林の中を通る道の、85年前と現在の写真です。  
枯死したブナもありますが、何本かは今も健在です。  
これらは樹齢約300年、徳川吉宗が将軍になったころに  
誕生した木々と推定されます。  
道の姿が変わっていないことに驚かされます。



この道は、人が何百年、あるいはもっと、歩き続けた道です。その道の傍らの、ふとした好適地に落ちたブナの実が、発芽し、定着して大きくなり、歩く人を、また見守り続けてきたのでしょう。

2023年  
8月26日

土 12:00開場／  
13:00～16:00

会場：大阪市立自然史博物館 講堂

参加費 無料※

当日受付／定員170名(先着順)

※ただし、自然史博物館の入館料(大人300円・高校・大学生200円)が必要です。

サテライト会場：きしわだ自然資料館 1階多目的ホール

※入場無料 ※YouTube同時配信を上映します。

YouTube  
同時配信

「大阪市立自然史博物館」チャンネル  
(<https://www.youtube.com/c/大阪市立自然史博物館/>)  
にアクセスして表題の番組をクリックしてご覧ください。



※開催後は、大阪みどりのトラスト協会のYouTubeチャンネルでも公開予定

主催：岸和田市教育委員会、貝塚市教育委員会、(公財)大阪みどりのトラスト協会

指導・助言：和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会

後援：大阪府、貝塚市、岸和田市

協力：(認定特非)大阪自然史センター、大阪市立自然史博物館、大阪生物多様性保全ネットワーク、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所、貝塚市立自然遊学館、関西自然保護機構、きしわだ自然資料館、日本野鳥の会大阪支部、(認定特非)緑の地球ネットワーク(50音順)

基調講演 1

天然記念物ってなに？—天然記念物の保護の意味—

田中 厚志 / 文化庁文化財調査官

誰もが一度は聞いたことのある「天然記念物」。動物や自然を保護する制度ですが、希少種保護や国立公園などどう違うのでしょうか？意外と知らない仕組みや意義、最近の指定について紹介します。



基調講演 2

ブナ林に迫る危機と協働による保全

石原 正恵 / 京都大学准教授

広島(太平洋側)と芦生(京都府北部)のブナ林の状況に関する共同研究の成果を中心に、気候変動やシカ害に直面するブナ林について紹介し、どのように保全を進めればいいのか、について話題提供します。



パネルディスカッション

和泉葛城山ブナ林 これまでの100年 これからの100年

〈パネリスト〉 田中 厚志 / 文化庁文化財調査官、石原 正恵 / 京都大学准教授  
 高原 光 / 京都府立大学名誉教授、田中 正視 / 貝塚市文化財保護審議会委員  
 土井 雄一 / 和泉葛城山ブナ愛樹クラブ代表  
 幸田 良介 / (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

〈コーディネータ〉 佐久間 大輔 / 大阪市立自然史博物館学芸課長

100年の間に人の暮らしは変化し、そしてそれは自然にも様々に影響してきました。みなさんと一緒に今の和泉葛城をみつめ、100年後も和泉葛城の山を愛し、楽しみ、守っていくために必要なことは何か、改めて考えてみたいと思います。



和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会

国の天然記念物に指定されてからも、周囲の森林の伐採、林道の開設、ハイキング道の拡張、キャンプ場の利用など、ブナ林をとりまく環境は大きく変化し、昭和後期には、登山者・観光客が増加し、利用状況の悪化が見られました。さらに、林内の乾燥化や、大木の枯死が増加する一方で若木が育たないことなどから、ブナ林は危機的な状態であると考えられました。

これに対応するため、昭和63(1988)年度、文化庁、大阪府、地元の貝塚市、岸和田市は、学識経験者、行政、地元教育委員会などからなる「国指定天然記念物と泉葛城山ブナ林保護増殖調査委員会」(平成5(1993)年7月～「和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会」)を組織し、今日に至っています。

現在、「和泉葛城山ブナ林10ヵ年計画(令和3年度～令和12年度)」をもとに、シンポジウムや自然観察ハイキングを開催してブナ林の魅力を知ってもらう活動、ブナの開花・結実調査、林内気象の計測、ナラ枯れへの対応、哺乳類調査、ブナ若木の育成等を実施しています。

※ 保全活動についてや委員会活動の状況等は(公財)大阪みどりのトラスト協会HPをご参照ください。

会場ご案内

大阪市立自然史博物館 講堂

(大阪市東住吉区长居公園1-23)

- ・地下鉄御堂筋線「長居(ながい)」駅  
南改札口3号出口から東へ約800m
- ・JR阪和線「長居」駅 東出口から東へ約1km
- ・近鉄南大阪線「矢田」駅 西へ約1.8km



YouTube同時配信を  
上映します!

【サテライト会場】  
きしわだ自然資料館  
1階多目的ホール

- (岸和田市堺町6-5)
- ・南海本線「岸和田」駅  
南出口から約800m  
(徒歩約12分)

TEL: 072-423-8100



お問合せ

公益財団法人大阪みどりのトラスト協会 ホームページ: <https://www.ogtrust.jp/>  
 TEL: 06-6614-6688 FAX: 06-6614-6689 Mail: [midori@ogtrust.jp](mailto:midori@ogtrust.jp)

